

第57回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分科会名	第 4 分科会	演題番号	402
題 名	異常値の取扱いに着目した大気汚染常時監視テレメータシステム上の危機管理対策		
所 属	環境衛生科学研究所		
氏 名	○前田友幸		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>大気汚染防止法（昭和43年法律第97号）により、国民の健康保護及び生活環境保全を目的として、都道府県等全国の自治体に大気汚染物質の常時監視が義務付けられており、本県では昭和45年からデータ収集のための通信システムである大気汚染常時監視テレメータシステム（以下「システム」という。）の運用を開始している。</p> <p>本県の従前システムは、ソフトウェア設計上は平成14年度に更新したものであるが、危機管理上の問題点がいくつか存在していた。具体的には、主に下記の4課題である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大気汚染濃度上昇時等の緊急時通報機構の不備（大気汚染濃度上昇時、異常値の発生時等に関係者でその端緒を自動的に察知できる、異常値判定を用いたメール配信の仕組みの構築） 2 システム保全上の課題（システムの災害・テロ対応） 3 設計の古さに起因する情報セキュリティリスク（情報漏洩・広報対策の両立） 4 スマートフォンの普及等社会情勢変化への未対応（データ公表WebサイトのPC・スマートフォン両対応） <p>これらの課題について過去の収集データ等をもとに解決を図り、その考え方を令和2年度上半期までに実施した新システム更新仕様に適用することで、常時監視業務における危機管理上の効率化を実現した。</p>		